

トツプの一言

山田敏之さん(47)

農業生産法人「こと京都」代表取締役



アパレルメーカーの営業などを経て、実家の農家に帰ったのは95年。「売り上げ目標1億円」を掲げたけれど、最初の年は400万円でした。それが農業の現実です。3年目からはコスト減と作業の効率化のため、栽培を九条葱に絞りました。00年からカット葱に重点を移しました。加工野菜なら市場の相場から外れ、売り上げの変動を抑えられるからです。折からのラーメンブームもあって、東京のラーメン店に営業をかけた。食材にこだわる店主が多く、農家が直接営業に来るのも珍しいということで、興味を持ってくれた。相手にされないことも多かった会社員時代の営業

京野菜 もっと身近に

よりは、楽しい営業でしたね。お陰様で、今年の売り上げ見込みは3億6千万円になりました。中国の毒ギョーザ問題以降、国産野菜が注目されているので、「こと京都」の京都府産の九条葱はもっと必要とされると思っています。「生産履歴と産地の表示ができる九条葱」として、府内のスーパーなどにも売り出したいと考えています。6月から、京都市役所前の地下街「ゼスト御池」で、毎週金曜日の3日間、「京のこだわり旬野菜」という直売所を開いています。23人の農家からその日取れた旬の野菜を集め、「こと京都」の社員が集荷や販売を担当します。都心部の直売所は珍しく、良いことだと思います。他府県では京野菜の値段が高く見せ物のようになっています。が、もっと食べてほしい。そのため、北海道や宮崎のように地域全体で盛り上げる必要があります。若者向けレシピを作るなど「食べ方提案」もしていきたいですね。(竹山栄太郎)

暮らし

やまだ・としゆき 伏見区生まれ。会社員を経て95年就農。02年に「有限会社竹田の子守唄」を設立。07年に現社名に変更。